

氏名	間 島 圭 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3848号
学位授与の日付	平成15年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Exponential-Exponential Cosine Fitting of Blood Pressure Decay Induced by a Long-Acting Calcium Blocker, Amlodipine, Using Home Blood Pressure Measurement (長時間作用型カルシウム拮抗薬アムロジピンは、減衰振動しながら降圧することを家庭血圧測定にて確認した)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 梶谷 文彦 教授 榎野 博史

#### 学位論文内容の要旨

近年、降圧薬は緩徐で確実な降圧をもたらすものが期待され、降圧治療の質が求められている。家庭血圧測定は診察室随時血圧測定より測定頻度が多く、降圧治療の効果判定に優れているとその有用性が認められてきた。われわれは、降圧薬による降圧現象を定量評価するために、血圧を時系列データとして、指数-指数コサイン関数、単指数関数で回帰し降圧現象の解析をした。長時間作用型カルシウム拮抗薬アムロジピンによる降圧現象は、起床時・就寝前において、指数-指数コサイン関数での回帰が、単指数関数より良好であった。フィット関数の係数より、アムロジピンによる降圧現象は起床時/就寝前の収縮期血圧を23/25 mmHg 下げ、降圧時定数は10/6日で、最大12/12 mmHg の振幅で減衰振動しながら安定血圧値に収束した。この研究では、アムロジピンは、降圧初期に減衰振動しながら降圧することがわかった。本解析法は降圧薬の血圧降下作用を解析するうえで、臨床的に有用な情報を提供すると考えられる。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、アムロジピン（長時間作用型カルシウム拮抗薬）投与後の血圧を時系列データとして指数-指数コサイン関数・単指数関数で回帰し、降圧現象を解析したものである。その結果、アムロジピンの降圧は降圧初期に減衰しながら安定血圧値に収束することを見出し、従来十分確立されていなかった降圧薬の血圧降下作用の解析法に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。